

胸腺摘出術を受けられる方へ

患者氏名：

経過 (日付)	入院日～		手術前日		手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目 【退院予定日】	退院後 初回受診時
	月 日		月 日		月 日							
	手術前	手術後										
到達目標	入院後のスケジュールがわかる。	手術の準備(必要書類の提出、必要物品の準備)ができる。 不明な点を医師や看護師に質問できる。	絶飲食を守ることができる。 朝の薬の内服時間・種類を守ることができる。 手術までに家族が病室待機できる。	麻酔から覚めることができる。 安静を守ることができる。 体についている管やコードをひっぱったりしない。 痛いときに我慢せず看護師に伝えることができる。	酸素ありて呼吸困難の自覚がない。 痰の出しにくさがない。 痛みが我慢できる範囲である。 病室内を歩くことができる。 食事を5割以上摂ることができる。 水分摂取もできないほどの嘔気がない。 チェストバンドが装着できている。	酸素なしで呼吸困難の自覚がない。 歩行距離が伸びる。 手術前と同じ日常生活行動がとれる。 チェストバンドが装着できている。	【退院の目途】 胸の管が抜ける。 38度以上の発熱がない。 傷に異常がない。 痛みが日常生活(食事・睡眠・シャワー浴など)において支障がない程度である。					
治療・処置	現在服用中の薬を提出してください(中止している薬も提出してください)。 感染予防のうがいを開始します。 呼吸訓練は入院後も継続してください。 	必要時、麻酔科受診と麻酔科医の往診があります。(医師の指示がある場合) 医師が手術部位の印をつけます。 手術部位の毛剃りをします。 手術に必要な物品をそろえてください。 21時に下剤を飲みます。	手術までに排便のない方は洗腸をします。 午後からの手術の場合は10時から点滴をします。 手術室から連絡がありましたら、手術専用の寝巻に着替え、手術室に行きます。手術室では義歯やアクセサリー類は身に着けることができません。化粧やマニキュアの除去をお願いします。 ご希望があれば手術室で好きな音楽を流すことができます。 服用薬のある方は、医師の指示に従ってください。	翌朝まで点滴が続きます。 手術中に管が胸に入ります。 酸素吸入や心電図などを装着します。 血栓予防の機械を両足に装着します。 	痛みが強ければ痛み止めを使用します。 服用薬は再開の指示があるまで飲まないください。 ガーゼ交換は必要時に医師が行ないます。 胸の管はレントゲンの状態や術後の経過を見て医師が抜きます。	抗生剤の点滴があります ガーゼ交換は必要時に医師が行ないます。 胸の管はレントゲンの状態や術後の経過を見て医師が抜きます。 	傷に糸のある場合、糸めきは術後7日目以降に行ないます(7日目以内の退院であれば外来で行ないます)。 	☆☆退院後日々に退院後日初回で外に異常受診を日感をおまじえらた受診日す。待たずに受診してください。				
検査	医師の指示があれば採血やレントゲンがあります。		採血があります。	採血があります。 お部屋でレントゲンをとります。	採血があります。 レントゲンをとります。 	必要時、採血やレントゲンなどの検査があります。						
安静	特に制限はありませんが、歩行の際は転倒に注意してください。	病棟内で お過ごしください	ベッド上安静です。 1人では起き上がらないようにしてください。 病室内安静です。 回復のために、できるだけ体を起こしておきましょう。	チェストバンドを装着します。体を捻らないように気を付けてください。 胸に管が入っている間は、室外に出るときは看護師を呼んでください。 胸の管が抜ければ安静の制限はありませんが、チェストバンドは約1ヶ月程度装着が必要です。	レントゲンの結果が良ければ病棟内歩行の許可が得られます。 胸に管が入っている間は、室外に出るときは看護師を呼んでください。 胸の管が抜ければ安静の制限はありませんが、チェストバンドは約1ヶ月程度装着が必要です。	安静の制限はありません。						
食事	特に制限はありません。医師の指示で治療食が必要な場合はお伝えします。	夕食まで食事ができます。 水分摂取は麻酔科医の指示に従ってください。	絶飲食開始の時間を守ってください。 	医師の許可があれば水分摂取開始となります。 昼から術前の食事が再開となります。 	治療食以外の方は、特に制限はありません。							
排泄	病棟内または室内トイレをご利用ください。	病棟内または室内トイレをご利用ください。	手術中に尿の管が入ります。 排便は寝たままベッド上で行ないます。	尿の管が抜ければ、トイレに移動して排泄できます。 初めての排尿は看護師を呼んでください。 尿の量を測ります。 	酸素や胸の管がある場合は、トイレへの移動の際は、必ず看護師を呼んでください。 	病棟内または室内トイレをご利用ください。 歩行に不安を感じた時は看護師を呼んでください。						
清潔	病棟内シャワーか1階の浴室を予約の上ご利用ください。	手術前日はシャワーまたは入浴を行ないます。 	麻酔が覚めたら看護師がうがいのお手伝いをします。 温かいタオルで顔を拭くお手伝いをします。	看護師がうがい、洗面、体拭き、着替えを手伝います。 	胸の管が抜ければ、シャワー浴のみ可能となります。退院前にシャワー浴をして体を慣らしていきますよ。 胸の管の跡は管が抜けて48時間以内は防水が必要となります。以降は、防水は必要ありません。 シャワー浴後は傷の周囲を乾いたタオルで軽く拭いて乾かしてください。 							
説明	外来でお渡しした書類を病棟看護師へ提出してください。 病棟看護師が、病棟内の説明、入院から退院までの説明を行います。	主治医から手術説明があります。ご家族の方も一緒に聞きましょう。	家族の方は手術開始予定の2時間前から手術終了まで病室で待機してください(朝9時台の手術の方は朝8時台までにお越し下さい) 	家族へ医師から手術結果について説明があります。 ご本人への説明は麻酔が覚めてから行います。 術後はナースステーション近くの個室へ入室する場合があります。	看護師から胸の管の注意事項について再度説明があります。 	保険会社へ提出の診断書は、病理結果が出てからの記載となります。 お急ぎでなければ、退院後に1-15番窓口で受付してください。	退院後の生活について看護師から説明があります。 退院は午前11時になります。午後からの退院希望の方は事前にお知らせください。 					

※この表は入院～退院までのプランを一覧にしたものです。□
※状況に応じて予定が変更になる場合があります。ご不明な点がございましたらいつでもお尋ねください。